

県議会 とちぎ

2010年1月31日

No. 93

編集・発行 栃木県議会

〒320-8501 宇都宮市埴田1-1-20

TEL 028-623-3772

FAX 028-623-3755

E-mail gikai@pref.tochigi.lg.jp

HPアドレス http://www.pref.tochigi.lg.jp/assembly/

第300回定例会（平成21年12月）

総額8億9,586万円の平成21年度 一般会計補正予算（第3号）を可決

第300回県議会定例会は、11月30日から12月14日まで、15日間の会期で開かれました。開会日には福田知事が提出議案の説明等を行い、12月2日から4日まで、上程議案並びに県政全般に関する質疑・質問が行われました。

本定例会では、知事から提出があった21議案(予算1件、条例9件、その他11件)と議員から提出があった12議案(規則1件、意見書10件、決議1件)が原案どおり可決され、第299回県議会定例会で閉会中の継続審査とされていた平成20年度決算7件が認定されました。また、請願・陳情については、1件が趣旨採択、1件が不採択、2件が継続審査となりました。

なお、開会日には、本会議終了後、8名の議員に対する栃木県議会永年在職功労者等の表彰がありました。また、本定例会は、昭和22年の地方自治法施行後、初めて県議会が開催されて以降、300回目の節目となる議会であることから、全国都道府県議会議長会事務総長の田村政志氏による第300回記念講演会が開催されました。



開会日に開催された第300回記念講演会

可決された主な議案

- 平成21年度栃木県一般会計補正予算（第3号）
- 職員の給与の特例に関する条例の制定について
- 栃木県行政機関設置条例の一部改正について
- 栃木県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例の一部改正について
- 栃木県議会会議規則の一部改正について

趣旨採択された陳情

- ◆改正国籍法について栃木県議会からの意見書提出を求める請願

可決された主な意見書・決議

- 国として直接地方の声を聞く仕組みを保障することを求める意見書
- 平成22年度予算の年内編成を求める意見書
- ヒブワクチン及び肺炎球菌ワクチンの定期接種化と安定供給を求める意見書
- 社会的セーフティネットの拡充に関する意見書
- 湯西川ダム建設事業及び思川開発事業の推進を求める意見書
- 第300回栃木県議会記念決議

第300回定例会 代表・一般質問者及び質問項目

<p>一 「選択と集中」による誇れるふるさと「とちぎ」の未来</p> <p>二 保健医療行政</p> <p>（一）保健医療計画</p> <p>（二）県南保健医療圏</p> <p>（三）首都圏農業</p> <p>（四）教育行政</p> <p>（五）道路行政</p> <p>（一）都市計画道路小山栃木都賀線</p> <p>（二）県道仙波鍋山線</p>	<p>一 知事の政治姿勢</p> <p>（一）今後の県政運営</p> <p>（二）新たな財政運営</p> <p>二 男女共同参画の推進</p> <p>三 DV対策</p> <p>四 生物多様性とちぎ戦略(仮称)の策定</p> <p>五 子どもたちの心身の健康を守るための施策</p> <p>六 発達障害児の支援</p> <p>七 企業立地対策</p>	<p>一 訪仏の成果と今後のウォーク・リューズ県との交流</p> <p>二 「とちぎ未来開拓プログラム」</p> <p>三 県出資法人のあり方検討</p> <p>四 次期総合計画の策定</p> <p>五 本県進出企業の定着化</p> <p>六 水需給の見直し</p> <p>七 本県農業の振興</p> <p>八 地域医療再生計画</p> <p>九 平成二十二年度予算編成方針</p>	<p>一 地方分権改革</p> <p>二 とちぎ環境立県戦略</p> <p>三 行財政改革</p> <p>（一）県出資法人あり方見直し</p> <p>（二）行政と学校間の相互協力</p> <p>四 市街化調整区域の土地利用に関する規制緩和</p> <p>五 とちぎの教育の推進</p> <p>（一）県立図書館の整備</p> <p>（二）栄養教諭の配置と食育</p> <p>（三）特別支援学校の運営と整備方針</p> <p>六 環境関連産業の振興</p>	<p>一 今後の道路整備の取組</p> <p>二 FIFAWORLDカップベースキャンプの県内誘致</p> <p>三 「とちぎ未来開拓プログラム」</p> <p>四 県税徴収率の向上</p> <p>（一）福社パスの廃止</p> <p>（二）那須地域の活性化に向けた取組</p> <p>（三）日光国立公園(那須の森(仮称))の整備</p> <p>（四）観光振興に資する道路整備</p> <p>（五）那須高原地域の交通渋滞対策</p> <p>（六）那須高原地域の交通渋滞対策</p> <p>五 新型インフルエンザ対策</p> <p>（一）県民への情報提供</p> <p>（二）休日・夜間における医療の確保</p> <p>（三）授業時間の確保</p> <p>（四）県産和牛の品質向上</p> <p>六 県産和牛の品質向上</p>	<p>一 県民スポーツの振興</p> <p>（一）競技スポーツレベルの向上</p> <p>（二）総合スポーツゾーンの整備</p> <p>二 地域農業の担い手対策</p> <p>三 家庭教育支援施策の充実・強化</p> <p>四 地域警察官による街頭活動</p> <p>五 本県における救急医療体制</p> <p>（一）ドクターヘリを活用した救急医療体制</p> <p>（二）救急電話相談の利用促進</p> <p>六 環境関連産業の振興</p>	<p>一 政権交代に伴う新政権への対応</p> <p>二 「とちぎ未来開拓プログラム」を踏まえた県政運営</p> <p>（一）栃木県の将来像</p> <p>（二）内部努力の徹底</p> <p>三 保健・医療・福祉分野の計画における圏域の設定</p> <p>四 農業の明日を担う人材の育成</p> <p>五 教育行政</p> <p>（一）道徳教育と親学への取組</p> <p>（二）教員採用試験のあり方</p>
---	---	---	--	---	---	--

■ 県議会広報テレビ番組のお知らせ ■

「県議会へようこそ」(とちぎテレビ)を通じて、県議会の動きなどを皆さまにお届けしています。番組内容は次のとおりです。ぜひご覧ください。

□「委員会からこんにちは」

第7回 次期総合計画検討会・平成21年度県議会活動を振り返って

本放送 2月20日(土) 午前10時5分～10時20分

再放送 2月26日(金) 午後7時30分～7時45分

注()は所属党派

(自民党)栃木県議会自由民主党議員会

(民主・無所属)民主党・無所属クラブ

(無所属県民)無所属県民クラブ

(みんな)みんなのクラブ

※は代表質問

裏面の「本会議質疑・質問から」に掲載している質問項目は、太字で表示してあります。

第300回定例会 本会議質疑・質問から

主な質疑・質問の要旨と、これに対する知事など執行部の答弁の要旨は次のとおりです。

地方分権改革

問 平成二十一年秋、地方分権改革推進委員会の勧告が出そろったが、特に第三次勧告は、地方自治の確立を完全自治体を目指す取組と定義し、法律による規制で地方に求める義務付けや枠付けの見直しを具体的に示している。第三次勧告をどのように受け止めるのか。また、県民が望む形での地方分権改革をどのように実現しようとするのか、知事に聞きたい。

答 勧告は、地方の実情に合わせた条例制定の範囲を拡大する内容であり、地方自治体の自主的で自立的な行政運営の確立に最も重要な柱である。全国知事会を通じて、本県の意見を国の政策に反映させ、県民が真に望む地方分権改革となるよう尽力する。また、県と市町で構成する「地方分権改革検討委員会」を活用し、県内市町と十分に協議し、改革を進めていく。

新たな財政運営

問 国政と同様に財源が不足する中、県政でも事業仕分けなど、新たな予算編成手法の導入が期待されている。県

では「とちぎ未来開拓プログラム」を策定したが、県財政の危機的状況を乗り切るため、さらに思い切った手法を財政運営に取り入れる考えがあるのか、知事に聞きたい。

答 「とちぎ未来開拓プログラム」は、様々な観点から事業を見直し、広く県民の意見を聴いてまとめたものである。また、手法は異なるが、本県でも県民への説明責任を重視した事務事業の見直しを行っている。本プログラムは、県民ニーズに的確に対応しながら、財政基盤を立て直す行財政全般にわたる取組であり、平成二十二年度当初予算についても、プログラムの初年度として着実な実行が図れるよう編成を進めていく。

地方公会計制度への取組

問 新方式の地方公会計制度には基準モデルと総務省方式改訂モデルがあり、本県では後者を採用している。総務省方式改訂モデルでは、実勢評価を反映せず、資産総額に大きな差異が生じる恐れがある。地域主権に取り組むためには、自らの財政状態の真の姿の把握から始める必要がある。将来世代の声を聞き、県民の意思決定に反映させる観点からも、地方公会計制度に対する知事の考えを聞きたい。

答 基準モデルへの移行を検討している都道府県は財務会計システムの再構築等に合わせ、平成二十六年年度予算から、平成二十六年年度予算からの稼働を目指し新しい財務会計システム構築の基本計画を策定している。基準モデルへの移行は財産管理等のシステム構築も必要。そのため費用対効果も見極めながら検討したい。

地域医療再生計画

問 本県における地域医療再生計画はどのような視点で策定したのか。また、県西保健医療圏の計画において、上都賀総合病院の建替整備支援に当たり、医療連携を含め、どのように診療機能の強化充実を図っていくのか聞きたい。

答 地域医療再生計画については、それぞれの実情を踏まえ、地域医療の課題解決を図るとともに、持続可能で安定的な医療提供体制や医療連携体制の整備を目指している。また、上都賀総合病院の建替整備については、二次救急を含む急性期医療機能や在宅復帰を促進するためのリハビリテーション機能等を強化充実するほか、休日夜間急患センターとの連携強化や検査機器等の共同利用を進めていく計画であり、地域に開かれた中核病院としての機能役割をこれまで以上に果たしていくことを期待している。

県南保健医療圏

問 新政権による補正予算の見直しで、県南保健医療圏の地域医療再生計画が、百億円から二十五億円に縮小せざるを得ない状況になっており、憤りを感じている。見直しに対する見解、下部圏総合病院の移転整備への支援、栃木地区の救急医療体制の整備、以上の三点について、県の考えを聞きたい。

答 地域の実情が考慮されず、極めて残念であるが、事業効果がしっかりと現れるよう取り組んでいく。また、下部圏総合病院の設置主体はもとより、医師会、関連大学等と緊密に連携を図りながら、地域の市や町とともに、医師

確保を含め、できる限りの支援に努めていく。さらに、機能強化をはじめ、初期二次、三次の救急医療機関の機能分化と連携強化を図り、地域の方々が安心してできる救急医療体制の整備に努めていく。

新型インフルエンザ対策

問 新型インフルエンザによる死亡者は全国で約九十人になり、ワクチン接種について、も国の方針が明確に定まらず、県民の不安は増大している。新型インフルエンザに関する県民への情報提供について、県の考えを聞きたい。

答 県ホームページ等により、手洗いや咳エチケットの徹底、発症した場合の医療機関への適切な受診方法等について幅広く県民に呼びかけている。また、ワクチンについては、接種可能な医療機関名、接種の対象者や費用、スケジュールなど、必要な情報を県ホームページ等で県民に周知し、円滑な接種の確保に努めている。今後とも、市町村や医師会等と緊密に連携しながら、流行状況や感染予防対策、ワクチン接種スケジュールなど、県民が求める情報を迅速かつ的確に提供していく。

保健・医療・福祉分野の計画における圏域の設定

問 県東・央保健医療圏域のうち芳賀地区だけをみると、既存病床数は不足し、医師数も低水準にあつて、決して医療環境に恵まれているとは言えない。その原因は、保健医療等の地域資源が集積している宇都宮市と同一圏域に属する宇都宮市は独立した圏域とすべきである。保健医療計画は

平成二十年度にスタートしたばかりだが、県は慣例にとらわれず、一刻も早く二次保健医療圏域の見直しに着手すべきと思うが、知事の考えを聞きたい。

とすべきとの提言については、宇都宮市、芳賀地区それぞれ医療資源の状況等に鑑みれば、県としても、保健医療圏域全体の設定を考慮の上で、検討すべき課題と認識している。今後、宇都宮市や真岡市等の関係市町、地元医師会等の関係機関の意見を十分聞きながら検討する。

観光の振興

問 現在、東京都墨田区内において東京スカイツリーの建設が進んでおり、開業すれば国内外から多くの観光客が訪れるものと見込まれるため、東京スカイツリーを活用した観光誘客対策を行うべきと考えます。また、アンテナショップについても、ここに設置すれば、県産品の情報発信と観光誘客との相乗効果が期待できるものと考えますが、県の考えを聞きたい。

答 例えば、観光物産フェアの開催や各種キャンペーンの実施等、本県の情報発信の場として活用したい。アンテナショップの設置については、有力な候補地の一つと考えており、出店条件等が示された段階で他の候補地との比較検討を行うなど、市町村とともにアンテナショップの開設に向けて検討していく。

家庭教育支援施策の充実・強化

問 子どもの成長過程において、基本的倫理観などを身に付ける上で家庭の担う役割は大きく、心の教育を推進

するためには、家庭の教育力向上は重要だ。教育委員会と福祉、食育などの関係部局、地域等が連携して、全国の先駆けとなるよう、家庭教育支援施策の充実・強化を図るべきと考えますが、知事の考えを聞きたい。

知恵にあふれ心豊かな人づくり(教育)

問 いじめや不登校、暴力行為等の問題行動や言語力の低下など、教育現場における様々な問題の根底には、教員に時間的余裕がないことがあると考えます。様々な雑務が、教材研究や子どもと向き合うことから教員を遠ざけ、教員の教育力を劣化させていると思う。そこで、教育現場の環境改善に向けた取組について県に聞きたい。

答 県では、今年教員へアンケート調査を行い、多くの実践例や提案を掲載した改善方針策をまとめ、各学校に配付した。また、主催会議等の一割削減や各種調査の整理統合を行うことを示し、市町教育委員会の参考に供している。今後とも、教職員の自主的な業務改善の支援に努めるとともに、実施状況を検証し継続的に教育環境の整備に努めていく。

家庭教育支援施策の充実・強化

第301回 県議会定例会の開催予定

第301回定例会は、下記の日程で開催する予定です。本会議や委員会などは、どなたでも傍聴することができます。また、本会議(質疑・質問)及び予算特別委員会(総括質疑)については、とちぎテレビ、栃木放送(ラジオ)、インターネットで生中継されます。

月 日	内 容	開始時刻	月 日	内 容	開始時刻
2月18日(木)	本会議(開会・議案上程)	コンサート終了後	8日(月)	常任委員会	午後1時30分
19日(金)	議案調査		9日(火)	予算特別委員会(採決)	午後2時
22日(月)	議案調査		10日(水)	議会運営委員会	午前11時
23日(火)	議案調査		11日(木)	本会議(採決)	午前10時
24日(水)	本会議(質疑・質問)	午前10時	12日(金)	常任委員会	午後1時30分
25日(木)	議案調査		15日(月)	議案調査	
26日(金)	議案調査		16日(火)	特別委員会	
3月1日(月)	議案調査		17日(水)	議案整理	
2日(火)	議案調査		18日(木)	予算特別委員会(採決)	午後2時
3日(水)	議案調査		19日(金)	議案整理	
4日(木)	予算特別委員会(総括質疑)	午前10時	23日(火)	議会運営委員会	午前11時
5日(金)	議案調査		24日(水)	本会議(採決・閉会)	午前10時

詳細は、県議会事務局議事課(028-623-3761)までお問い合わせください。

議会のうごき

◆ 会派構成の変更

平成二十二年一月一日現在の会派構成は次のとおりです。

栃木県議会自由民主党議員会 三十二人

民主党・無所属クラブ 七人

無所属県民クラブ 五人

公明党・新政クラブ議員会 三人

みんなのクラブ 二人

日本共産党 一人

議会コンサートのお知らせ

二月十八日(次回定例会開会日)午前10時から、議事堂一階ホールで栃木県交響楽団とキョー・キルシェによる演奏会が行われますので、ぜひご来場ください。

詳しくは議会事務局議事課(電話)〇二八-六三三-三七五四までお問い合わせください。